

# しんあい

## 季刊

2023年(令和5年)3月20日発行 第125号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10  
TEL 042-367-8801  
<https://www.tama-dhk.or.jp/>  
をぜひご覧下さい!



2022年12月20日 永年勤続表彰式。オンライン開催も3回目となりました。

### 泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

### 緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター緑苑

### あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

### 神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者  
在宅サービスセンター
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ  
相談センター

### 児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉法人を考える16  
～当法人の自己紹介④～

◆ 第2回実践報告会

◆ 2022年度BESTブログ

◆ 施設だより  
「春一番」

# 社会福祉法人 を考える 16

～当法人の自己紹介 ④ 人材育成の仕組み～

理事長 鈴木恂子



当法人の自己紹介4回目は人材育成の仕組みについてご紹介します。

当法人の人事制度は1996(平成8)年にさかのぼります。府中市立あさひ苑は1993年8月に開設しましたが、職員採用は1年半前から始め、約100名の新たなメンバーを迎えました(現在そのメンバーの多くが各施設の中核を支えています)。半数以上が新卒者でしたので、その育成には大きな責任を伴いましたが、施設内外の研修は参加できる人数や時間が限られ、働きながらの育成が課題になっていました。その頃に出会ったのがOJT(On the Job Training-仕事を通して指導し技術を向上させる教育方法)という人材育成の方法でした。早速にその時の講師にコンサルタントをお願いし「組織活性化プロジェクト」がスタートしました。

一方翌年1997年には介護保険法が成立しました。当時、東京都内の多くの施設は都独自の公私格差是正事業により、公務員に準じた給与表を使っていましたが、2000年の介護保険法施行により公私格差是正事業はなくなり、財源の裏付けを失い、独自の給与表に移行を迫られていました。

そこで人材育成と給与のあり方を抜本的に見直すことになりました。

1996年から4年間の検討を重ね、2000年に人事考課×給与表×職能要件の仕組みを整えました。以降2003年から人事制度委員会としてトータルな人事制度の構築に取り組み、2008年には人事制度の全体像をキャリアパスとして一覧にまとめました。「組織活性化プロジェクト」は名称と位置づけを変えながら人事制度の骨格を整備して現在に至っています。2021年度からは人事管理戦略会議として、安定した職員確保、職員個々のスキルアップ、継続して働けるしくみづくり等を目標に検討を重ねています。

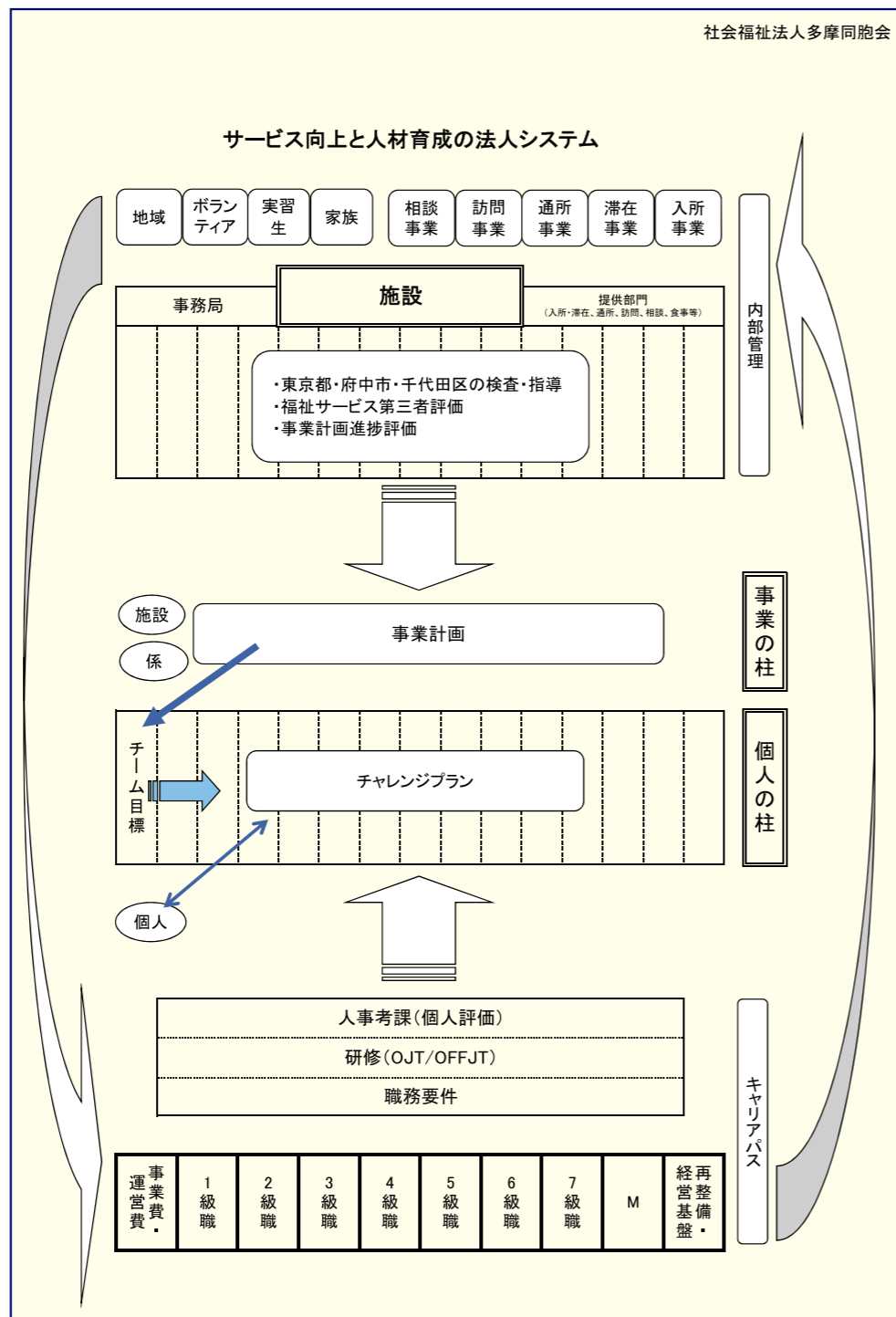
## 「サービス向上と人材育成の法人システム」の説明

施設ごとに地域の現状と課題、ご利用者、ご家族、ボランティア、実習生と向き合いながら、相談を入口として訪問・通所・滞在・入所等々の事業を提供しています。法人の理念を遂行しサービス向上を目的に、その取り組みと検証を繰り返し、毎年の事業計画を策定します。

事業計画(現在は3ヵ年中期計画に基づく単年度計画を策定しています)を事業の柱とし、事業をになう職員は個人の柱としてチーム目標をふまえたチャレンジプランを策定します。

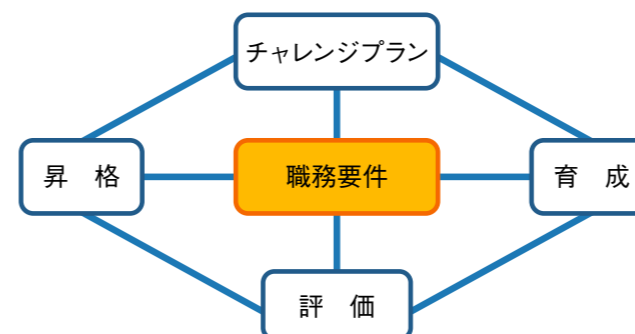
具体的な目標は級ごとに定めた職務要件を参考にします。チャレンジプランをサポートするために育成担当者のOJTや内外の研修があり、年2回評価面接を繰り返し、ステップアップしていきます。

60歳をもって育成期間は終了(卒業)し、以降はシニア職員としてそれまでに培った力で働き方を選択し、役割を担っています(2021年度より)。



## 職務要件を中心とした人事制度

正職員の人事制度全体像



職務要件

1. 共通(高齢・母子 各4項目)…法人職員としての基礎的要件
2. 専門分野(事業別要件) …13分野全98

事業		項目数
施設管理	① 施設運営(施設長・副施設長等)	7
	② 事業管理者(センター長、次長等)	9
	③ 事務	8
相談	④ 支援センター相談員	9
	⑤ 生活相談員(入所サービス)	6
(事業別) 介護	⑥ 介護(入所サービス介護実務)	11
	⑦ 通所介護(介護実務は⑥)	14
	⑧ 訪問介護(在宅介護)	14
職種横断	⑨ 看護	4
	⑩ 訓練	4
	⑪ 食事	6
児童	⑫ 児童(入所)	3
	⑬ 児童(在宅)	3

## 職務要件を中心とした人事制度

(2022年度現在)の説明

正職員は1～M級職の8段階にわかれます。

### 正職員

- 1級職：高卒で入職する未成年期間に適用
- 2級職：初任者。原則3年以内に3級昇格(上限5年)。
- 3級職：一般職。自立した仕事ができる。資格取得する。
- 4級職：有資格者。指導的立場に立つ。(主任クラス)
- 5級職：更なる専門的知識、スキルを持ち、係・事業の実務を統括する。

### <6級職から管理職>

- 6級職：事業責任者(センター長・次長・統括係長)
- 7級職：M級移行級。施設長代行ができる。

(副施設長・併設施設長等)

M級職：拠点施設の全体責任者。

(施設長・事務局事務長等)

### 職務要件

2002年度から職能要件表を作成し、その後も検討を重ねてきましたが、2020年度に全面改正し、職務要件としました。厚生労働省の人材育成マニュアル(職業能力評価基準)に準拠し、専門分野は職種ごとに検討を重ね、13分野98項目の事業別要件とし、共通する基礎的要件は4項目に決めました。項目ごとにレベルI～IVがあり、1,2級～7,M級により適用するレベルが移ります。

# 第2回 実践報告会

## 開催しました!



第2回実践報告会も法人各施設をオンラインで結んで2022年11月18日に開催しました。昨年度と同様に、職員研修の一環として行われるこの会では各施設がどのような取組や専門職の活躍、職種間の協働により、ご利用者に寄り添い、サービスの質の向上をはかっているのかを報告しました。今年度は高齢6施設に児童1施設が加わり、各10分という短い時間ではありますが自施設の取組を発表しました。また、今回から役員と施設長10名が審査

員となり、報告内容へのコメント及び採点を担当しました。最優秀賞には発表内容とパワーポイント作成技術がワンランク上をいていた緑苑が選ばれ優勝カップが贈られました。優秀賞は岩本町ほほえみプラザ、特別審査員賞は泉苑とかがやきプラザ、それ以外の施設は

敢闘賞となり、賞状が贈られました。また法人互助組織のあゆみ会からは報告者全員にクオカードも贈られ発表者を労いました。

報告会後に視聴した職員の皆さんから「いいね」をいただきました。たくさんの「いいね」から選んだコメントもお伝えします。



## かがやき

**テーマ**  
地域や企業、ボランティアと一緒に高齢者の暮らしを支える仕組み作り



**報告内容**  
地域住民や企業などに「地域で暮らす高齢者の支援」の必要性を理解してもらうため、地域公益活動「買い物ワゴン」の活動を通じて、ボランティア育成や高齢者の暮らしを理解する機会の提供について発表しました。

**報告者**  
福本美希 (相談員/介護福祉士)

**「いいね！」**  
発表で出てきた利用者の皆さん、ボランティアの皆さんがとても生き生きとしてすみれ会の活動の楽しさやあたたかい雰囲気が伝わりました。(たち職員)

## 連雀

**テーマ**  
高齢者住宅で一人暮らしを続けるための関係機関の連携について



**報告内容**  
神田地区の高齢者が訪問介護のヘルパーだけではなく、地域の方々の協力も得ながら生活を支えていく援助を発表し、チームとして支えているという役割や責任感を実感できました。発表内容に対してご意見や感想を多数いただきました。

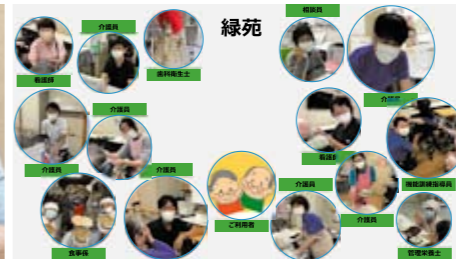
**報告者**  
伊藤賢司 (通所係主任/介護福祉士)  
渡嘉敷和也 (定期巡回サービス提供責任者/介護福祉士)

**「いいね！」**  
専門機関のみならず、スーパーマーケットの協力を得られていること、地域に根差しているということですね! (しらとり職員)

## 緑苑

**テーマ：多職種連携** 1) 福祉用具を用いた排泄介助の取り組み 2) 食事介助方法の取り組み

**報告内容**  
1) 多職種 (介護福祉士、看護師、理学療法士) が携わり立位困難になったご利用者に対しスタンディンググリフトを導入しトイレでの自然排泄を目指しました  
2) 嚥下機能が落ち食事が召し上がれなくなってしまったご利用者に姿勢の改善や栄養補助食品を取り入れる等、安全に食事が摂取出来るようにアプローチしました。(介護福祉士、看護師、管理栄養士が連携)



**報告者**  
村上悟 (ホーム介護リーダー/介護福祉士)  
星埜明子 (食事係リーダー/管理栄養士)

**「いいね！」**  
パワポが本当にバツグンで目が離せませんでした。チームでのやり取りもとてもわかりやすく葛藤しながらも利用者のことを考えているのが伝わりました。(かんだ連雀職員)

## きずな

**テーマ**  
環境を活かした支援



**報告内容**  
母子生活支援施設で実施している支援内容についての理解を広げるため、学童保育で実施している畑作業を通じて、子どもたちが成長していく様子について発表しました。

**報告者**  
山城克之 (少年指導員主任/公認心理士)

**「いいね！」**  
子どもたちに畑仕事について知識ではなく、考えることの大切さを教えているのがすばらしい。(岩本町職員)



## 岩本

**テーマ**  
新型コロナ禍でのボランティアがもたらす影響について



**報告内容**  
コロナ禍で中止していた対面でのボランティア活動を再開しました。オンラインよりもご利用者の反応も良く、一部マンネリ化していた活動が活発になったこと、外部の目があることにより、職員の接遇マナーも意識して行えるようになり大きな効果を得ることができました。

**報告者**  
滝 幸恵 (ショートステイ主任/介護福祉士)  
奈尾友紀子 (ショートステイ介護員)

**「いいね！」**  
ボランティアの力はすごいですね。受け入れることで利用者だけでなく、職員へ与える印象も大きかった。そこに気付いて取り組んでいるのがうやまししい。(かんだ連雀職員)

## あさひ苑

**テーマ**  
～介護の働き方改革～ 利用者と寄り添う時間を大切にしたい



**報告内容**  
寄り添うケアが実践できているのか?とフロア職員に体感し考えてもらうきっかけの取り組みを行いました。ご利用者の気持ちを感じ、考えること、そしてご利用者を知ることで、ケア一つにおいても貴重な時間となり、イメージする事の大切さを感じることができました。

**報告者**  
安倍宏之 (ホーム介護リーダー/介護福祉士・介護支援専門員)  
築瀬公亮 (ホーム介護リーダー/介護福祉士)

**「いいね！」**  
「寄り添い」の取組で良い結果だけでなく素直に「うまくできなかった」「わからなかった」と答えられるチームワーク、チームへの信頼関係があるんだと感じました。ご利用者だけでなく職員にも目がむいている取り組みだと思いました。(かがやきプラザ職員)

## 泉苑

**テーマ**  
泉苑見守り配食事業「泉湧夕ごはん」の取り組みについて



**報告内容**  
独居高齢者や高齢者のみ世帯などの見守りや健康維持を目的として、泉苑では自主事業のお弁当配食事業(泉湧夕ごはん)を行っています。泉湧夕ごはんをお届けしているご利用者とそのご家族の声、新型コロナ流行時も事業を継続した取り組みについて報告しました。

**報告者**  
清水雄介 (食事係主任/調理師)  
藤田美紀 (通所係 リーダー/介護福祉士)

**「いいね！」**  
食事提供の役割が社会的にこれほど重要で利用者の満足感につながっていたとは…驚きました。(きずな職員)

# 施設 だより



## 春一番



寒い冬からいよいよ待ちに待った春到来です。心も身体も暖かくなるようなほっこりしたお便りをお届けします。

### しらとり

憧れのローラー滑り台！  
みんなで滑れるようになり  
なりました。

今年度も終わりに近づき、残りわずかになりました。この一年で様々な経験をして年度初めとは見違えるほど成長し、自信をつけているしらとり保育室の子どもたち。一緒に過ごしているうちにチームワークも出てきているようで、最近はお散歩の行き先を子どもたちの話し合いで決めることも増えています。

一番人気はローラー滑り台のある公園です。この滑り台はスタートの場所に行くまでに長い階段や丸太の坂道などたくさん難所を越えなければなりません。途中で諦めたり、職員の手を求めたりしていた子どもたちも、今では体の使い方が上手になり、諦めずに自力で登り降りることができるようになりました！時には友だちを手伝ったり、「がんばれ！」と応援したりする場面もあり、優しくたくましく成長した姿に嬉しい気持ちでいっぱいです。

来年度へ向けて少しずつ準備をしながら、残りの日々もおもいっぴり楽しみたいと思います。

保育担当(保育士)

菅沼 由香



### きずな

サクラ咲け！

きずなでは、高校受験に挑む3名の受験生が日々勉強や小論文・面接対策を行ってきました。焦りや不安を抱えながら受験対策を頑張ってきた子どもたちは、受験というイベントを通して、自分の弱みや強みを内省して自分自身と向き合い大きく成長したように思います。

入所してくる子どもたちの中には、不安定な環境の中で学業に集中できなかつた子や、人付き合いが苦手な子もいます。きずなでの様々な経験を通じて、自分の中の課題と向き合い成長していく子どもたちの姿に、職員もパワーをもらいます。記事を書いている現在はまだ合格発表前なので、子どもたちの頑張りが報われるよう職員一同祈っています。



母子支援員(社会福祉士) 高橋 風子

### たち

リフレッシュ  
保育の春

新年度が近づくにつれて、「4月から通う幼稚園が決まったよ」「ランドセルが届いたよ」という話が多くなる、リフレッシュ保育。そのような話を耳にすると、段々と慣れて安心して遊べるようになった姿、異年齢保育の中で大きいお友だちに優しくしてもらい嬉しそうにする姿、春の進級時期はお子さんそれぞれの成長を思い返すことが多いです。

写真はこの春一年生になるお子さんから頂いたお手紙。メッセージの他にたっこの絵も描かれており、嬉しい限りです。お子さんから頂いたお手紙などは保育室に飾らせてもらい、いつも励みにさせてもらっています。



リフレッシュ保育(保育士) 齋藤絵里

### マンボ！！

[2022年09月26日(Mon)]

あさひ苑食事係では、敬老のお祝い御膳を提供するとともに、余興としてお祭りマンボの演芸を行ないました。今年の夏は新型コロナウイルス感染症の影響で夏のひととき活動が中止となり、敬老のお祝いも実施することができず、無事開催することができませんでした。



### 若さの秘訣？

[2022年  
12月08日(Thu)]

グループホームに入居している98歳のAさん。最近若い男子のアイドルに夢中です。iPadで映像を観たり、画像を見たり…「かわいい、かわいい！」とこの笑顔です。自身の歩行器に写真を貼って、モチベーションをあげて歩行されています。もうすぐ99歳になるAさん。実年齢より若く見えるのは【推し活】のおかげかもしれません。(岩本町ほほえみプラザ きいろいさんかく)



### 成長を感じられた運動会

[2022年10月28日(Fri)]

先日、きずなの子供たちが通っている小学校で運動会がありました。各学年、徒競走、遊戯、高学年は組体操、選抜リレーを行います。たくさんの保護者に見守られながら、それぞれの全力で一生懸命臨む姿には胸を打たれました。9月から学童の時間にも練習していた子ども達。高学年の子に「組体操の練習がしたい」と言われ、私も数十年振りに組体操に挑戦しましたが、時の流れを感じました…。2人技のサボテンで子どもを支えられず、失敗。「年のせいかな」と諦めていたのですが、本番の子供たちの輝かしい姿に背中を押され、後日改めて挑戦してみると子どもも重心を上手く取れるようになっていて見事に成功！子供たちの努力に感化された大人の自己満足に、付き合ってくれた彼女に感謝です。(きずな アソパソマン)



### 生活支援コーディネーター始動！

[2022年06月17日(Fri)]

かがやきプラザ相談センターは今年の4月から生活支援コーディネーターの事業を千代田区から委託されています。生活支援コーディネーターとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降、雇用や医療、福祉といったさまざまな分野へ多大な影響を及ぼすことが予測されることを背景に、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の支え合い活動を推進する人のことをいいます。

現在、各職員が千代田区の社会資源や地域ニーズの把握するため、千代田区内の集まりや社協のミーティング等に参加するなど、生活支援コーディネーターとして最初の一步を踏み出しています。(かがやきプラザ ポークビッツ)

### 2022年度 BESTブログ

2007年(平成19年)9月3日から本格的にスタートした法人ブログ～日々のあゆみ～は、各施設が順番に担当し、15年6か月のあいだ1日も欠かさず更新中ですが、今回は2022年度の各施設のBESTブログを掲載します。各施設で投票などをして、ナンバー1を決定しました。(今号は紙面の都合で5施設をご紹介します、次号に続きます)

### アートな秋

[2022年10月12日(Wed)]

秋が深まりましたね。食欲の秋、スポーツの秋・・・保育室の子ども達も毎日いろいろな秋を楽しんでいます。今日は床一面に画用紙を広げ、絵の具でお絵描き。筆だけでは収まらず手や指を使ってダイナミックに楽しむ子ども達は、まさに芸術家。「ぐちゃぐちゃだあ」「この色混ぜちゃえ！」。子ども達の作戦会議にも熱が入ります。その後はかわいいお花をたくさん貼って、大きなコスモス畑が出来上がりました。明日はどんな秋を楽しもうかな。顔から足まで絵の具をつけた子ども達。今日はあったかいお風呂でキレイに洗おうね。(しらとり ひらりー)



あさひ苑

楽しみな春

2年前の春、私が入職してすぐに担当した一さん。元々物静かな方でしたが、その日は普段以上に表情が硬く口数も少なかったように思います。ご家族から一番上のお孫さんが進学し家を出たと聞いたのはその時でした。一さんとお孫さんは毎日ご自宅で一緒に訓練を行うなど関りも深く、離れてしまつてごうと寂しかったのだと思います。それから2年が経ち、一時はコロナ感染などで気力も体力も落ちていた一さんを訪ねると、その日は一生懸命に日課のスクワットを行っていました。お話を伺つと、この春お孫さんが学校を卒業し、社会人になって帰ってくるかと満面の笑みで教えて下さいました。

「元気でないと！」と食卓につかまりスクワットをする背中からは、以前のような活気と春を楽しみにしているお気持ちが伝わってきました。

ケアマネジャー(介護支援専門員) 溝田 ゆう



緑苑

介護福祉士となり2年目の春を迎え

昨年介護福祉士の資格を取りました。合格出来たのは嬉しいですが、まだまだ未熟ですから切磋琢磨、勉強の毎日です。

日勤・夜勤の変則勤務で働いているので、身体を壊さぬように睡眠時間など健康面にも気を遣っています。私だけかも知れませんが寝ている時、夢の中に利用者者が登場するのは日常茶飯事です。



私はショートステイの担当です。「初めまして」のご利用者とお会いする際は緊張しますが、他のご利用者の情報が頭の中で混ざらないように注意を払います。今年の春は、マスクを外せる時間が少しでもあれば、「元(笑顔)」をお見せしたい。ご利用者からも職員からも安心して頂ける存在になりたいです。

ショートステイ担当(介護福祉士) 原田 憲

連雀

11年目の春

多摩同朋会に入職して11年目の春を迎えることが出来ました。連雀の外には大きな桜の木があり、もう10回も見ているのかと思うと感慨深いものがあります。

前職が介護とは関係ない職種だったため、何もかもが初めての体験で、がむしゃらに仕事をしていた記憶があります。こうして10年経てたのもご指導いただいた諸先輩方や頼もしい同僚の支えがあったからだと感じています。

排泄介助・食事介助・入浴介助と「毎日同じことの繰り返しじゃないか」と思う時もありましたが、同じことを繰り返すことでご利用者の些細な変化や周りの環境の変化などにも気が付けるような目線をもつ事が出来ました。まだまだ未熟な所はありますが、これからもたくさんの気づきを増やし、ご利用者や職員からも安心してもらえる存在になっていきたいです。



ホーム介護員(介護福祉士) 伊藤 裕太

かがやき

ある町会に学ぶ「ご近助」の精神

かがやきプラザ相談センターが、生活支援コーディネーターの事業を千代田区から受託して、この春で1年になります。地域の資源を把握し、「互助」を基本としたサービスや支援を創出されるような仕組みを作るため、動き始めています。

都心は、「互助」が期待しにくいというイメージだと思えますが、そんな中でも「世代や領域を超えて、交流できる居場所を作りたい」という熱い思いで、「町かど教室」を立ち上げた町会があります。写真は、「町かど教室」の様子です。この日の2時間目は、社協による「マシオン防災」についての講義。講義の終わりに、3時間目のボードゲーム目当ての子どもたちが中を覗きに来る場面もありました。



私たち相談センターは「町かど教室」を通して、地域作りに向けた支援ができればと思っています。いよいよ春を迎え、新年度。みなさんの地域でも何か新しいことが始まるのではないのでしょうか？

相談員(社会福祉士) 吉澤知子

泉苑

春の出会いと別れ

泉苑の特養に入居されているA様はショートステイをご利用になるご主人と入浴後にフロア内でお会いになったり一緒にしゃべりながら夕食を召し上げられたりと様々な場面で面会していらっしゃいました。奥様から「お父さん」と呼ばれると、ご主人もとても嬉しそうなお顔をされていました。一緒に過ごされているところを撮影し、お写真をご家族様にお届けすることも出来ました。

施設ではご利用者とお別れが突然訪れることもあります。前日までフロアでお元気に過ごされていたご利用者が突然お亡くなりになると、私たち職員が最後の身支度を整えさせていただきます。正面玄関からお見送りをさせていただきます。

「こんなことをよく仰っていたなあ。」このお料理がお好きだったなあ。「色々なことが思い出されます。一緒に過ごさせていたいただいた日々を振り返りながらご遺族に泉苑でのご様子を話させていたくことで、私たちがご遺族と一緒に在りし日のお姿を偲ばせていただいています。泉苑にお住いになつている皆様到最后まで楽しく過ごしていただきたい、そのためのお手伝いを精一杯していきたいと思っています。



ホーム介護員(ヘルパー2級) 古澤むつみ

岩本町

春の空気

朝はまだ肌寒いですが、日中は時折吹く風が暖かく春の空気を感じます。段々と日も延びて心地よく過ごしやすい春が待ち遠しく思います。

岩本町ではご利用者の皆様に食事を楽しんで頂きたく、新しい年明けの日に松花堂弁当を召し上がっていただきました。献立は、洋風ちらし・生春巻き・塩麴煮・いちごです。

初めての試みをと、今までお出ししたことがない生春巻きを今回作りました。これから来る春に先駆けて色鮮やかな花に見立てたいと考えた一品です。巻く作業に悪戦苦闘しながらも切った断面は小さな花束のような仕上がりになりました。

ご利用者に感想を伺つと、「蓋を開けただけで楽しい」「いつも綺麗な食事をありがとうございます」と、有り難いお言葉と素敵な笑顔がたくさん頂きました。五感すべてで楽しめる食事作りをこれからも大切にしていきたいです。



食事係(調理師) 杉山 友菜

## ニュースミニ I

### しらとり おみくじハッピー

しらとりでは、今年も年最初に新年のお祝いをご家庭で楽しめるようにお寿司とデザート、おたのしみ福袋をご用意させて頂きました。福袋は、みなさんに手作りのくじを引いてもらい今年最初の運試し。袋の中にはご寄贈いただいたお米や洗剤、お菓子などに加え職員が選んだ生活便利グッズもみなさんのご多幸を願って詰め込みました。多くの方のご支援やお心遣い感谢您的、今年も職員一同頑張っていきます。

(母子支援員 吉川泰葉)



## ニュースミニ II

### 緑苑・きずな 節分会

今年も緑苑では2月3日に節分会が行われ、職員が鬼に扮して各フロアを回りました。ご利用者は、「鬼は外！福は内！」と大きな声で豆をまいて鬼退治して頂きました。コロナウイルスやインフルエンザもきつと降参していなくなってくれるはずですよ。

10年に一度という寒い冬を乗り切って訪れる春を楽しみにしたいと思います。

1歳児の子どもが対象なのでリアル鬼は少し刺激が強いこともあり、保育職員と子ども達自身が可愛らしく鬼に扮装しました。

(きずな心理担当 飯田紫織)



緑苑のオニ



きずなのオニ

## ボランティアの御協力ありがとうございます

(敬称を省略させていただきます)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年2月よりボランティア活動のほとんどを中止してきましたが、少しずつご協力を再開していただいています。

市川知子 菊池和彦 具嶋郁子 黄美華 古藤龍慎 小林わか子 小柳亜樹子 近藤豊子 下江美鈴 すみれ会 高倉祥子 高橋ヤヨイ 滝沢冷子 栃谷さき 中田由香里 根深正子 宮崎清子 三輪孝子 村井福子 柳谷夏見 脇山令子

(2022年12月～2023年2月)

## 御寄贈・御寄付ありがとうございます

(掲載を可とされた方のみのお名前です。)

(敬称を省略させていただきます)

アメリカンスクールインジャパン 上野恒章 大沢良三 木下サーカス株式会社 KCJGROUP株式会社 一般社団法人cornerstoneI-SHI-ZU-E 浄土宗八王子組青年会 NPO法人ソシオキュアアンドケアサポート ドミノ・ピザ国分寺富士本店 トレカで子どもを笑顔にする会 日本サッカー協会 日本出版販売(株) 一般社団法人バンクフォースマイルズ 末日聖徒イエス・キリスト教会府中ワード

(2022年12月～2023年2月)

## 介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

●泉苑 老後支援 24時間  
☎0120-6540-24

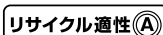
●あさひ苑 福祉にっこり 24時間  
☎0120-2942-24



法人ウェブサイトはこちら

Facebook 更新中

採用情報サイトはこちら



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



## 編集後記

私の春は……

春に誕生日を迎えるので、たくさん美味しいものを食べたと思います。

(たっち 恩智温子)

春に引越しがあるので、新しい環境での生活を楽しみたいと思います。

(しらとり 菅沼由香)

資格取得に向けての挑戦が始まるので、頑張りたいと思います。

(きずな 高橋風子)

休日は朝夕1時間の散歩が日課ですが、暖かくなるとさらにモチベが上がります。

(泉苑 堀内賢治)

我が家だけのお気に入りの桜を見に行き、今年の花の良さを語り合おうと、春が来たと思う。

(あさひ苑 佐藤知也)

桜を見ると入職した時のことを思い出します。初心を忘れず頑張ります。

(あさひ苑 玉城多美子)

家族の在り方が変化し、期待と不安が交差する春を迎えます。

(緑苑 鈴木律子)

春の選抜やプロ野球が開幕するので球春最高です

(緑苑 村上悟)

4月から長女が小学生になります。月日が経つのが早いですねえ！

(かんだ連雀 伊藤裕太)

三冬尽き、三年ぶりに本当の春が訪れますように！

(かがやきプラザ 内田亮輔)

気温も心地よい春から冬の運動不足を解消したいと思います。(事務局 西郷加代子)

公私ともに、コロナ禍で一時停止していた様々な活動が再開する春にすることを願います。(事務局 青木志乃)

孫がラン活を始めました。私も自分が小学生だったら何色がいいか、真剣に悩みました。(編集長 上野廣美)